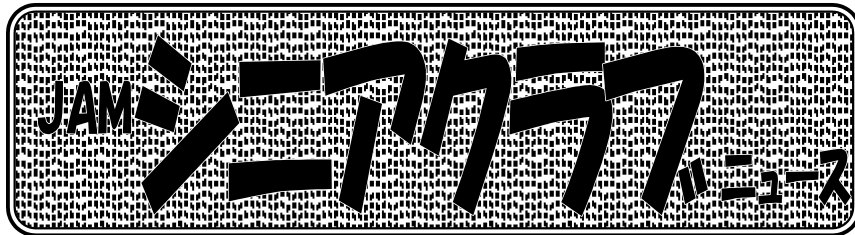


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第178号

発行日 2022年10月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

主張



後、継続雇用で勤務していた。当時の自治

22年間、JAMの活動に携わらせていただきました。退職後は、家庭菜園、スポーツジムでの運動、自治会活動、労働審判員、JAMシニアクラブの参加などを行っていました。今回は、自治会活動に参加して、感じていることを報告します。

5年間の自治会活動を通じて感じていることは、労働組合の組織運営も自治会の組織運営も同じような課題を抱え

労働組合役員OBは、自治会活動に積極的な参画を

群馬シニア事務局次長 鈴木英二

二つ目は、各種イベントへ参加者をどう確保するかです。そして、3つ目は、組織をどう民主的に運営していくかで

あるOBの皆様は、その経験を生かし、自治会活動を支える要になっていただけたと思っています。

地域住民との接点が非常に限定的になっていて、住民の情報集約が難しいのが主な要因かと思っています。

自治会になる労働組合以上に役員の手探しの難しさが難しい。地域での日常的なコミュニケーションの機会が少なく、地域住民との接点が非常に限定的になっていて、住民の情報集約が難しいのが主な要因かと思っています。

9月7日、コロナ禍のため3年振り第23回目の「東京街歩き」です。武蔵野の面影を色濃く残す、都立小金井公園の一角「江戸東京たてもの園」の見学。27名の参加を得て大型の台風11号の接



東京「江戸東京たてもの園」を見学
東京シニア副会長 岩本一公

計報

JAM兵庫シニアクラブ会長、JAMシニアクラブ中央幹事 中下恵司さん 享年82歳



病氣療養をされていましたが、10月17日にお亡くなりになりました。

中下さんは元ナブコ労働組合（現ナブテスコ労働組合）執行委員長で退職後、JAM兵庫シニアクラブの会長、JAMシニアクラブ中央の幹事として高齢者運動の先頭に立って活躍されました。生前のご厚誼に感謝を申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

近で天気を気にしながらの開催。案内図に従い自由に散策、江戸から東京へ変わりゆく姿を写真・展示品など、高橋是清邸、初代万世橋交番、横に赤い郵便ポスト、ボンネットバスや、都電、懐かしい。明治・大正・昭和初期の建物、乾物屋、居酒屋、荒物屋に文房具店・和傘店・など。銭湯は、子供の頃、家に風呂などなく、近所の家全てが銭湯通いで、大人の社交場であり子供の遊び場でした。そして見た事のある建物、五十年前に通勤していた、常盤台駅近くの「常盤台写真館」。当時は、気にもしていなかったが、思い出が蘇ってきました。今回の街歩きは私にとっても思い出深く、心に残るとても、不思議な、楽しい街歩きとなりました。一日も早くコロナが終息し、毎年二回の「東京街歩き」を皆で楽しみたいものです。

新潟 定期総会 結成20周年記念パ ーティーを開催

新潟シニア事務局次長
櫻井竜義



JAM新潟シニアは9月26日(月)新潟県長岡市長岡グランドホテルで、第21回定期総会・結成20周年記念パーティーを開催しました。3年ぶりの集合開催となり、来賓、役員OB、現役組織代表者合わせて45名の方々よりご参加いただきました。開催検討時期には感染第7波の為、幹事会での開催の可否判断には大変苦慮をいたしましたが無事、開催まで漕ぎつけることができました。

総会では、冒頭7月の参議院選挙で見事当選を果たしたJAM代表、村田きょうこ参議院議員よりWEBよりご挨拶いただきました。その後、来賓としてお越しいただいたJAMシニアクラブ大山会長よりご挨拶いただき、新型コロナウイルス禍より3年経過した全国シニア世代の状況をお聞かせいただきました。

総会後には、JAM新潟シニアクラブ結成20周年記念パーティーを開催、久しぶりの再会を喜ぶ声が会場のいたるところから聞こえてきました。翌日には野外交流会(ゴルフ交流)も開催し多数の参加をいただき、合わせて2日間にかけて大いに盛り上がりしました。

大阪 定期総会 結成20周年記念式典 を開催

大阪シニア事務局次長
狩谷道生

10月8日(土)、JAM大阪シニアクラブは第22回年次総会及び結成20周年記念式典・祝賀会を開催しました。コロナ禍により2年間書面審議による開催を余儀なくされてきましたが、今年度は3年ぶりに対面で開催することができました。また、結成20周年記念式典・祝賀会も1年遅れとはなりましたが、あわせて開



催できました。総会は午前10時から、JAM西日本会館6階ホールにおいて、43名の参加で開催されました。大山JAMシニアクラブ会長をはじめ9名の来賓にも出席いただきました。また、村田きょうこ参議院議員から「誰もが安心して暮らしてゆける社会の実現に向けて、これからも全力で取り組んでゆく」との決意を込めたお祝いのメッセージが送られてきました。

総会では、2022年度活動報告・決算報告、2023年度活動計画・予算、23年度役員体制が議論され、決定されました。活動計画では①岸田政権が推し進めようとしている後期高齢者の健康保険料の引き上げ・窓口負担の増加、介護保険料の増加と給付の削減により改悪されてきた年金・医療等の社会保障制度を抜本的に拡充すること、②「防衛費倍増」、「敵基地攻撃力強化」等の軍拡政策に反対し、憲法の立憲主義・平和主義・民主主義を擁護する活動をはじめ平和と人権を守る活動を強化すること、さらに、核廃絶をめざし、「核兵器禁止条約」の早期批准を要求すること、③JAM大阪シニアクラブ会員の拡大を図ること、そのために現役組織との連携を強化すること、さらに、地協OB会の強化と拡大を追求すること等が確認されました。また、総会では退任される瀬戸川副代表幹事に対する功労表彰も行われました。

総会終了後、12時30分から「徐園」にて、結成20周年記念式典・祝賀会を開催しました。式典・祝賀会は49名の参加で開催され、10名の来賓を代表して大山JAMシニアクラブ会長、徳永大阪退職者連合会長及び菊地JAM大阪執行委員長の名から祝辞をいただきました。その後の祝賀会では、マジックショーや抽選会も交え、参加者全員

が楽しく和やかな雰囲気の下でおいに親睦を深めました。

東京 定期総会 結成20周年記念 レセプションを開催

東京シニア幹事
平木和裕



東京シニアは10月5日(水)亀戸・アンフェリシオン・ソレイユで第22回定期総会を開催、その終了後に東京シニアクラブ結成20+1周年記念レセプションも合わせて開催しました。総会には、会員32名(内役員11名含む)が出席しました。

今年度の活動はコロナ蔓延で、規制は緩和される方向にあり、その中で可能と判断した取り組みを確実に実行していくことを目指し

①現役三役との連携強化と地協OB会との交流を進め会員拡大を目指す。
②会員相互の交流を深める活動(東京街歩き)。
③誰もが生き生きと安心して暮らせる社会づくりに向けた「年金・医療・介護」についての政策制度要求に取り組んでいく。
④高齢者や退職者の関心事や課題を探り、社会の動きにも連動した学習会を企画していく。

などの活動方針を提案しこれを裏付ける予算案と合わせて会員諸氏の全会一致で承認されました。

総会後、コロナ禍で昨年に予定した結成20+1周年記念レセプションを十分な感染対策を行い開催しました。JAMシニアクラブ・大山勝也会長、現役のJAM東京千葉・森潤二執行委員長、JAM千葉シニアクラブ・長岡功会長、東京高退連・遠藤幸男会長をはじめとする9名の来賓の方々にも出席頂きました。前東京シニアクラブ会長の古家久光顧問の発声で乾杯を行い会食・懇談に入り、東京シニアクラブ長岡会長が玄人顔負けの即興・マジックが披露されました。その後お楽しみ抽選会を行い終了しました。